

社会資本総合整備計画																事後評価書					
計画の名称	甘楽町・住み続けたい生活環境のまち整備（重点計画）																				
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）																重点配分対象の該当			○	
交付対象	甘楽町																				
計画の目標	甘楽町の下水道処理人口普及率を向上させ、生活環境の改善・向上を推進するとともに、河川等の水環境の改善に寄与する。 白倉地区および裏福島地区の未普及区域の整備を図り、下水道処理人口普及率の向上を目指す。																				
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）			474	A	474	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）			0	%			

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	・下水道処理人口普及率を63%から74%に向上させる。			
	・下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 / 総人口	63%	71%	74%
2	・汚水処理人口普及率を89%から98%に向上させる。			
	・汚水処理人口普及率 汚水処理施設を利用できる人口 / 総人口	89%	97%	98%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	甘楽町	直接	甘楽町	管渠（ 污水）	新設	5 2 - 1 処理分区（公共） （ A 1 - 1 ）	Φ 1 5 0 mm L = 9 0 0 m	甘楽町	■	■	■			105		-	
	A07-002	下水道	一般	甘楽町	直接	甘楽町	管渠（ 污水）	新設	5 6 処理分区（ A 1 - 3 ）	Φ 1 5 0 mm L = 2 3 0 m	甘楽町	■					17		-	
	A07-003	下水道	一般	甘楽町	直接	甘楽町	管渠（ 污水）	新設	5 2 - 1 処理分区（白倉 污水幹線）（ A 1 - 2 ）	Φ 1 5 0 mm L = 4 , 5 0 0 m	甘楽町	■	■	■			352		-	
												小計						474		
											合計							474		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
甘楽町水道課が担当となって事後評価を行う。	令和 6 年度
	公表の方法
	ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道処理人口普及率及び汚水処理人口普及率の向上により、生活環境改善の推進や公共用水域への汚濁負荷量削減が図られ、河川等の水質改善に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
令和 2 年度で汚水処理人口普及率の概成したため、令和 3 年度からは「快適で活力ある暮らしを実現するための基盤整備」へ移行し、下水道整備事業を実施した。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	74%	下水道処理区域内での計画にない民間等の開発分譲により、目標数値を予定より早く超えた。
	最 終 実績値	79%	
2	汚水処理人口普及率		
	最 終 目標値	98%	
	最 終 実績値	98%	